

フィコンパ®による 治療を受けられる方と そのご家族へ

医師の指示に従って治療を行ってください

フィコンパ®の製剤写真

フィコンパ®錠 2mg



E275

2

[実物大]



フィコンパ®錠 4mg



E277

4

[実物大]



フィコンパ®細粒 1%



細粒剤の全体量（お薬の量）は、0.2g (2mg)～1.2g (12mg) です。

フィコンパ®点滴静注用 2mg

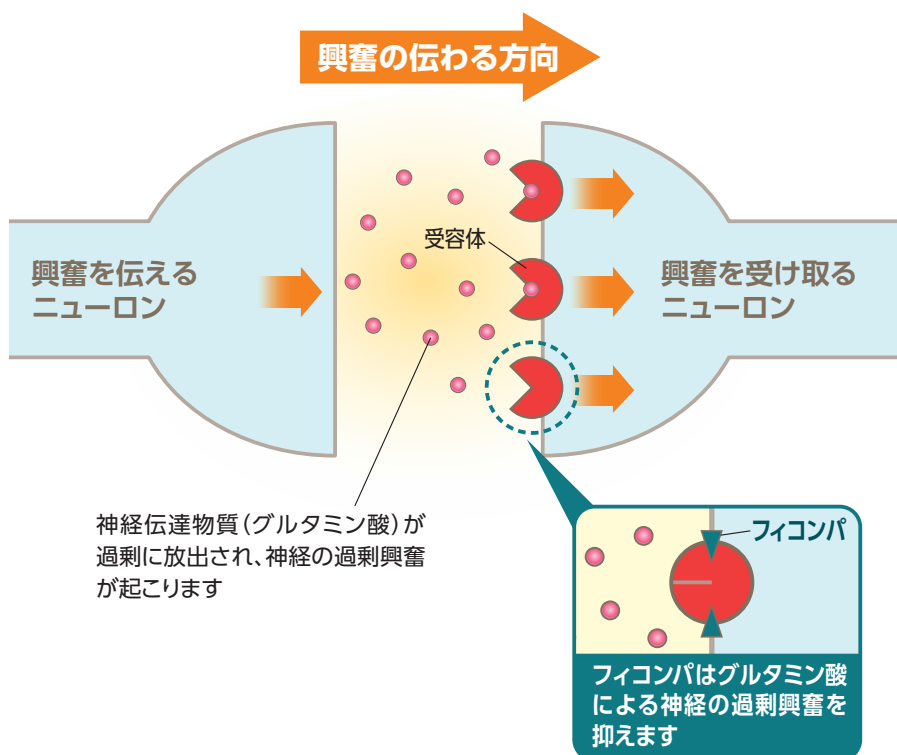


目次

フィコンパとはどんなお薬？	1
フィコンパの服用方法[錠2mg・錠4mg・細粒1%]	2
フィコンパの静脈内投与方法[点滴静注用2mg]	3
治療にあたっての注意点	4
治療にあたってのその他注意点	6
注射剤による治療中の注意点	8

フィコンパとはどんなお薬？

てんかん発作が起きているとき、脳の中では神経伝達物質（グルタミン酸）が過剰に放出され、神経の過剰な興奮が起こっています。フィコンパは、グルタミン酸による神経の過剰な興奮を抑えることで、てんかん発作を抑えるお薬です。



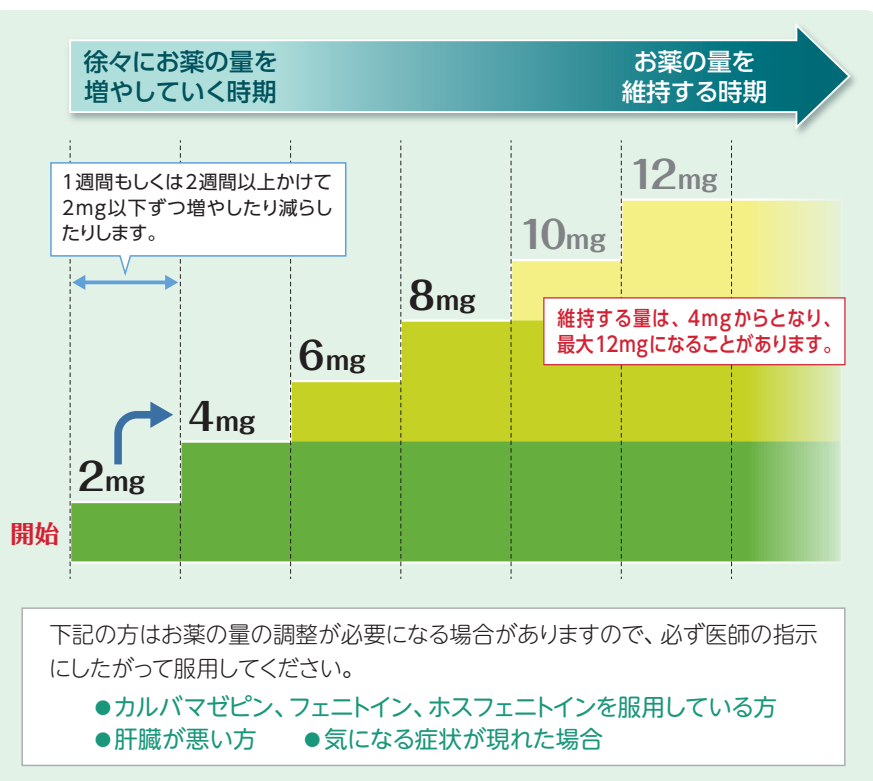
フィコンパの服用方法

〔錠2mg・錠4mg・細粒1%〕

このお薬は、年齢、てんかん発作の種類や一緒に服用する他のお薬によって、維持する量や調節の仕方が異なることがあります。

少ない量から開始し、1週間もしくは2週間以上の間隔をあけて2mgずつゆっくりと量を増やしていきます。

必ず医師の指示にしたがってください。



このお薬は「1日1回」寝る前に毎日服用してください

このお薬は一定期間服用を続けることで効き目を発揮します。ご自分の判断で服用を中止したり、服用量や服薬回数を変更せず、必ず医師の指示にしたがって服用してください。

フィコンパの静脈内投与方法

〔点滴静注用2mg〕

このお薬は、年齢、てんかん発作の種類や一緒に服用する他のお薬によって、維持する量や調節の仕方が異なることがあります。

ペランパネルの経口投与から本剤に切り替える場合は、ペランパネル経口投与と同じ1日用量での治療を行います。

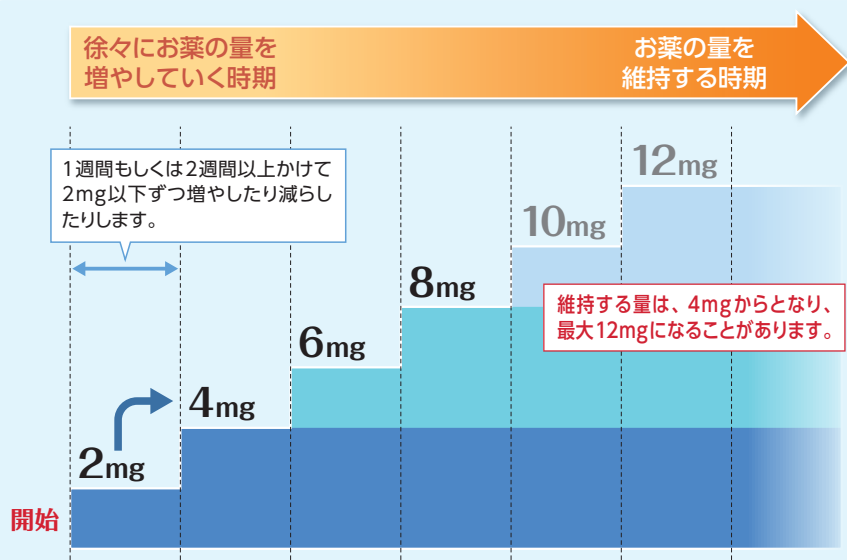
一方、ペランパネルの経口投与に先立ち本剤を投与する場合は、少ない量から開始し、1週間もしくは2週間以上の間隔をあけて2mgずつゆっくりと量を増やしていきます。

投与時間について

成人及び12歳以上の小児には、1日1回30分以上かけて点滴静脈内投与されます。

4歳以上12歳未満の小児には、1日1回90分かけて点滴静脈内投与されます。

必ず医師の説明を受けてください。



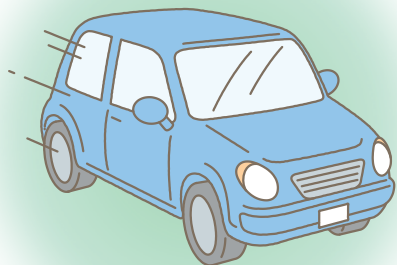
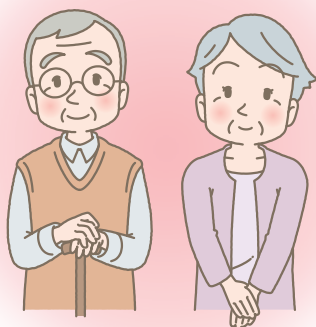
下記の方はお薬の量の調整が必要になる場合がありますので、必ず医師にお知らせください。

- カルバマゼピン、フェニトイン、ホスフェニトインを服用している方
- 肝臓が悪い方
- 気になる症状が現れた場合

治療にあたっての注意点

このお薬は、めまいや眠気があらわれたり、体がふらつく、だるいなどの症状がでることがあります。

特に高齢の方は、転倒のリスク（危険）が高いため、十分に注意してください。



治療中は自動車などの運転や危険を伴う機械の操作は避けてください。

このお薬の治療中に以下のような症状が見られた場合には、必ず医師にご相談ください。

- 気分の変化(いらいらする、興奮しやすくなる、不安になる、死にたいという気持ちになることなど)
- 幻覚(本来あるはずのないものが現れたり、聞こえたりすることなど)

ご家族の方は、治療中や治療後の患者さんの状態の変化について観察し、普段と様子が異なる場合には、医師に連絡してください。

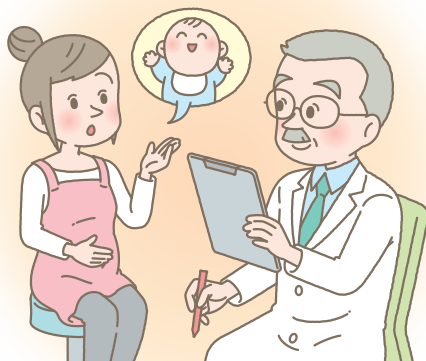
小さなお子さんや幻覚・妄想を生じる患者さんの場合はご自身で状態の変化に気づけないことがありますので、ご家族の方が注意して観察してあげてください。

気になる症状が現れた場合は医師または薬剤師に相談してください。
その際、発作の症状やお薬の服用回数・治療回数を詳しく記録しておく、
今後の治療方針などを相談するときの大切な手掛かりとなります。



治療にあたってのその他注意点

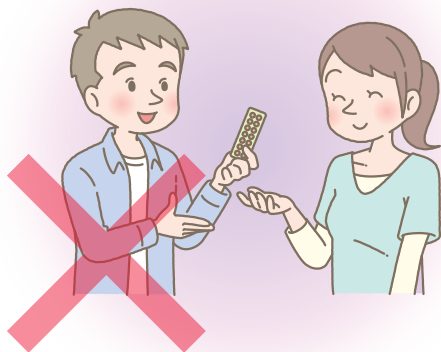
- 肝臓が悪い方、腎臓が悪い方、透析を受けている方、妊娠中または授乳中の方は、必ず医師に相談してください。



- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他のお薬（サプリメントも含む）を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。



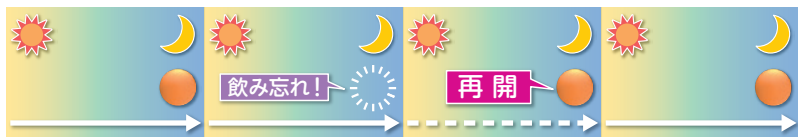
- アルコールはこのお薬の作用を強めることがありますので、注意してください。
- 誤って多く服用した場合は医師にご相談ください。



- 薬が残ってしまっても、絶対に他の人に渡しはいけません。余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

飲み忘れてしまったときは

もし飲み忘れてしまった場合には、気付いた日の夜寝る前に服用してください。翌日からまた続けて夜寝る前に毎日服用してください。

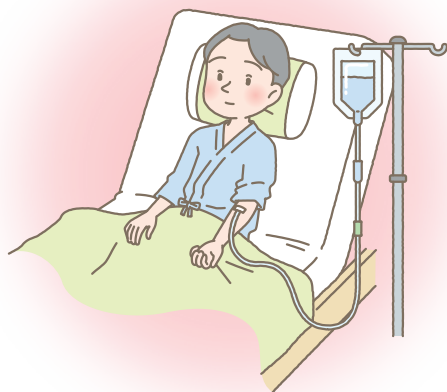


注射剤による治療中の注意点

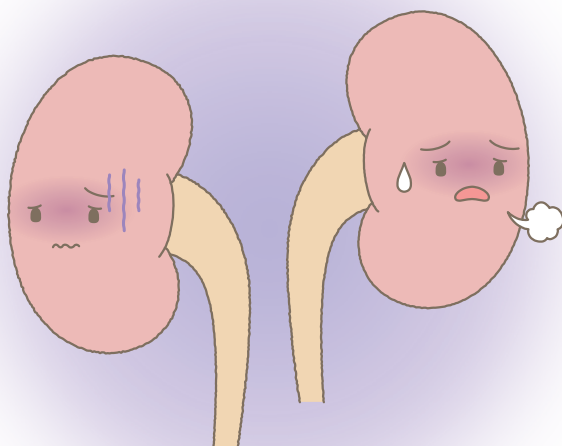
- 錠剤等、飲み薬と比較して、めまいに伴う転倒のリスク（危険）が高いので、十分に注意してください。



- 点滴静注用製剤による治療にあたっては、添加剤であるスルホブチルエーテル β -シクロデキストリンナトリウム(SBECD)の血漿中濃度の急激な上昇に伴い、ショック、アナフィラキシーを起こすおそれがあります。



- また、長期の点滴静注用製剤による治療に伴い、SBECDの尿細管への影響により腎機能の悪化等を引き起こすおそれがあります。



**気になる症状がある場合、
わからないことがある場合は
医師または薬剤師に
ご相談ください。**

このお薬についてのお問い合わせ先

エーザイhhcホットライン

患者様：0120-151-454

医療関係者：0120-419-497

受付：平日9時～18時、土日・祝日9時～17時
365日対応、フリーダイヤル

病医院・薬局名記入欄